

当体義抄送状

文永一〇年

五二歳

問ふ、当体蓮華^げ解し難し。故に譬喩^{ひゆ}を仮りて之を顕はすとは、經文に証拠有るか。
答ふ、經に云はく「世間の法に染まざること、蓮華の水に在るが如し、地より涌出す」云云。地涌^{じゆ}の菩薩^{ぼさつ}の当体蓮華なり。譬喩は知んぬべし。以上後日に之を改め書すべし。此の法門は妙經^{しよせん}所詮の理にして釈迦如来の御本懷^{ほんがい}、地涌の大士に付嘱せる末法に弘通せん經の肝心なり。国主信心あらんの後始めて之を申すべき秘藏の法門なり。日蓮より最蓮房^{さいれんぼう}に伝へ畢^{おわ}んぬ。

日蓮花押